

～ 文理融合の化学分析研究の奥深さ ～

この「理窓」に記して残すことで、資料館の活動自体を振り返ることができ、活動記録としてとても貴重な場所をいただいていると感じています。毎回、提出が遅く、「理窓」編集委員の先生方をハラハラさせてご迷惑をおかけしており、本当に申し訳なく思っています。皆さまのサポートのお陰で資料館だよりも10回目を迎えることができました。改めて御礼申し上げます。

3ヶ月に一回の報告が、ますます速く感じられ、これからも発信していけるかどうか全く自信がない状況ですが、今後も資料館活動へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

念願のくまモン来る！

11月21日 熊本県のゆるキャラ、くまモンが近代科学資料館にやってきました。「くまモンと一緒に熊本県立装飾古墳館から借用中の古代ガラスを見よう！」との企画案を熊本県東京事務所へ提案し、めでたく採択され、多忙なくまモン隊の理科大訪問が実現しました。熊本県出身の私としては、いつか資料館にくまモンを呼びたいとは思っていましたが、何かきっかけがなければ呼べるわけがありません。企画展準備の上に秋のイベ

ントラッシュ時でしたので、迷いましたが、今回呼ばなければ、このような機会はめったにあるものではないと、企画案を練り提出しました。当初は理大祭にと希望しましたが、くまモン隊のスケジュールが合わず、理大祭実行委員と理大祭に遊びに来て！とアピールできるよう理大祭前にお願いしました。資料館スタッフ一丸となり、くまモン用控室や通路確保など引越越し作業をし、また熱烈なくまモンファンの混雑対策案を作成し、当日は、企画総務課はもとより学生課、管財課そして警備員さんにもご協力いただき、十分な誘導体制をとりました。当日、集まった大勢の理大生やくまモンファンと一緒に楽しいひとときを過ごすことができ、元気をもらえました。「熊本県は装飾古墳数日本一！」をアピールするくまモンは、本当に動きが機敏でかわいく、プロフェッショナルなくまモン隊の仕事ぶりに感服した一日でした。

学芸員の経験値

秋の企画展「古代文化財の謎を解く－X線で見てくる昔のこと－」は“本物”を借りた協力館以外にも貴重な写真掲載許可をお願いした館が実に30館近くになりました。正倉院、平等院、東大寺



小学生と展示を見るくまモン



熊本県古墳出土ガラスをアピール



くまモンに集まった人々



くまモンと理大祭アピール



理大祭実行委員による理科実験教室

ミュージアムなどの歴史上の文化財ガラスを中井先生がこれまでに分析されているからです。そのような由緒あるベテラン学芸員さん達と僅かでもやりとりできたことは学芸員として貴重な経験となりました。当初、解説パネルにあまりにも多くの貴重写真が含まれており、面喰い、多くの名だたる館に連絡をとることを躊躇しましたが、資料の活用を感謝されたり、資料の取り扱いのご指導を受けたり、どの館やお寺も日本の貴重遺産をととても大切に扱っていらっしゃることを肌で感じ、勉強になりました。

秋のイベントラッシュ

10月19日と20日の二日間、理科大に一番近い新宿区立津久戸小学校で出前授業を行いました。1日目の出前授業は津久戸小学校PTA（居場所学習委員会）から相談をうけ、理大祭を宣伝する機会にいいのではと理大祭実行委員に声をかけ、学生課の承諾をとり実現しました。「祭」を仕切る彼らならではのとても賑やかでのびのびした実験教室でした。一方、お馴染みとなった中町図書館との共催理科教室も今回津久戸小学校をお借りしました。科学教育専攻の伊藤稔研究室の4年生が面

積についての新しい小学生向け授業を新規開発し、実践してくれました。

その他、10月27日のホームカミングデーでは、主な計算機を梱包して葛飾キャンパスへ運び、「計算機の歴史」出張展示をしました。今回ICチップ収集家OBが秘蔵チップを持って駆け付けてくださり、展示と解説をご協力いただきました。葛飾の伝統工芸も紹介していた春の企画展のパネルを再活用した「江戸伝統工芸を科学する」ミニ展示も行いました。

科学コミュニケーションサークル「ちびらぼ」の学生達が資料館前で「楽しいポンポン船体験」をしてくれたお陰もあり、2日間で500人もの来館者のあった理大祭を11月23日24日に終え、2013年の秋のイベントラッシュが無事終了しました。2014年は、資料館の収蔵品の管理業務に向き合い、日本一の計算機コレクションの常設展示を充実した展示にしていきたいと考えています。ご来館の折には、この「理窓」の資料館だよりのご感想もぜひお聞かせ下さい。皆さまのご来館をお待ちしております。



HCD出張展示



ポンポン船